

自治体名：茨城県河川課

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項
実施内容	茨城県河川情報システムのスマートフォン向けサイトの改良

### 令和7年度の取組状況

- スマートフォンが世の中に広く普及したことから、スマートフォンから災害情報を入手することが多くなっている。そのため、**利用者特性や利用場面を踏まえ、スマートフォン端末の性能やサイズによる制約条件を十分に考慮したサイトを新たに構築した。**
- 既存のスマートフォンサイトから利便性を大きく向上させ、**災害情報が速やかに伝わるサイトを構築した。**

#### 既存のスマートフォン版サイト

既存のスマートフォン版サイトのスクリーンショット。メニュー項目が多く、地図のアイコンが小さく見にくい。

トップ画面から得られる有効な情報が少ない

アイコンが小さく、選択しにくい  
河川の形状が分かりにくい

#### 新たに構築したスマートフォン版サイト

新たに構築したスマートフォン版サイトのスクリーンショット。見やすさと操作性が向上している。

観測局のアイコンサイズを大きくし配色を変更することで、視認性を改善

ひと目でわかる災害情報

ききクルや浸水想定を重ね合わせ

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	防災教育の促進（マイ・タイムライン作成授業の実施）

### 令和7年度の取組状況

- 水害時の逃げ遅れによる人的被害ゼロに向け、住民が適切な避難行動を取れるようにするため、「マイ・タイムライン」の普及に努めている。
- 特に、県では国や市町村等と連携し、洪水ハザード内にある全小学校において「マイ・タイムライン」の作成授業を実施しており、災害の怖さや自分の命は自分で守る“自助”の大切さを認識してもらうなど、防災教育に取り組んでいる。
- 令和7年度実績（見込み）：全96校のうち62校について県で講師派遣予定（※）

※その他は国や市町村等で実施



マイ・タイムライン作成授業の様子

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	避難力強化訓練の実施

## 令和7年度の取組状況

◆ 災害発生時において住民が適時適切な避難行動を取ることが出来るよう、小美玉市と連携して、洪水ハザード内の全ての住民を対象とした避難力強化訓練を5月に実施。

### <主な訓練内容>

- ・マイ・タイムラインに基づく住民避難訓練
- ・避難行動要支援者の避難支援訓練
- ・能登半島地震を踏まえた避難所の開設・運営訓練

※重点項目として、トイレ環境の整備、ベッド・パーテーションの確保、女性に配慮した取組（性被害防止ポスターの掲示、トイレに防犯ブザーの設置）などを実施



災害対策本部設置訓練



快適トイレの設置



パーテーションの設置



性被害防止ポスターの掲示

## 避難力強化訓練の様子

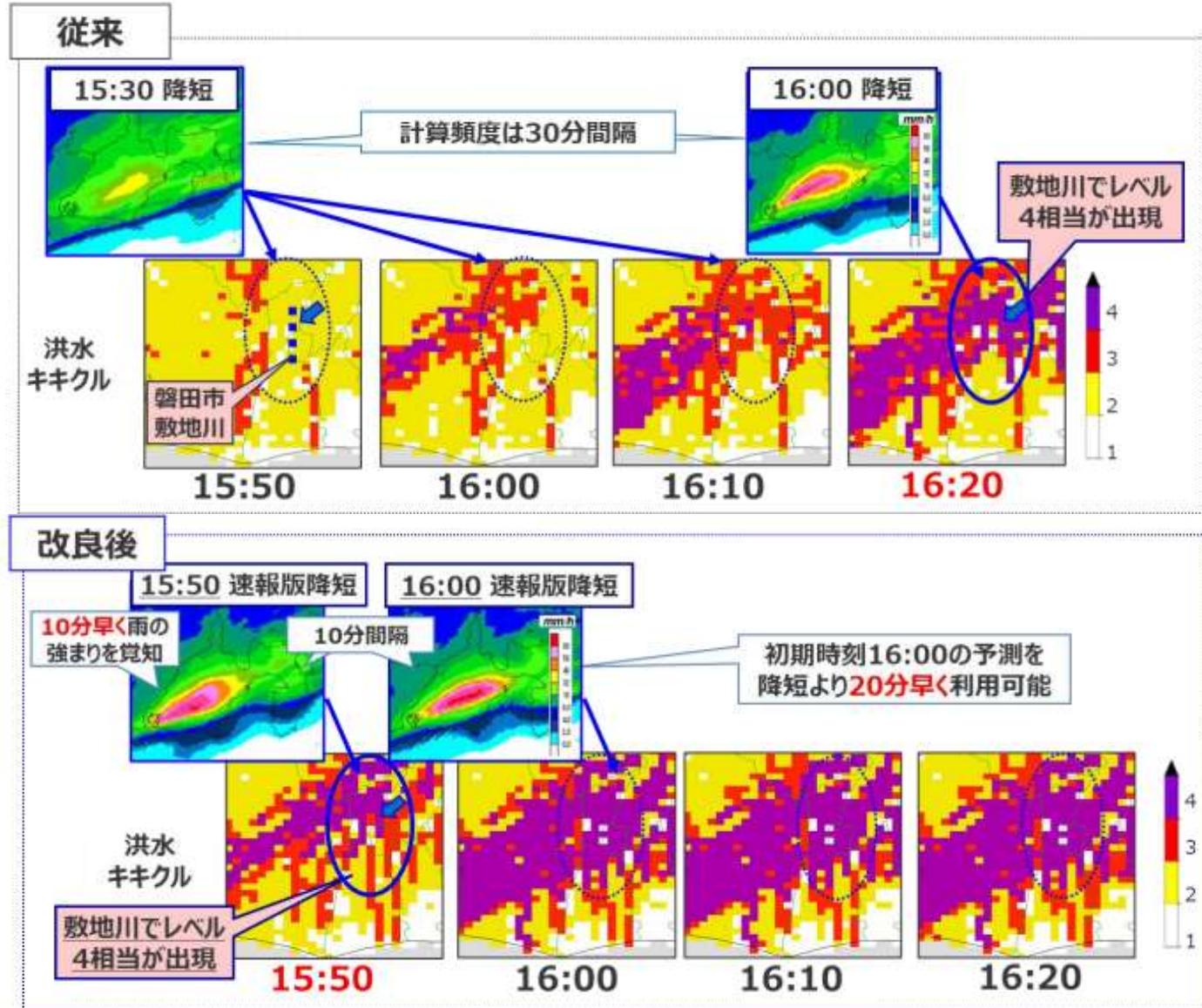
組織名：水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善

令和7年度の取組状況  
 浸水キキクル、洪水キキクルの作成に用いる予測雨量を、作成頻度が30分間隔の予測から、10分間隔の予測に変更

浸水キキクル及び洪水キキクルの予測精度が改善するとともに、洪水キキクルにおける危険度の高まりがいち早く反映されるように改善

(例) 右図  
 2023年6月2日17時40分(日本時間)に氾濫危険水位に到達し、氾濫が発生した静岡県磐田市敷地川の事例。速報版降短を用いる改良後の洪水キキクルでは、30分早く危険度紫が出現



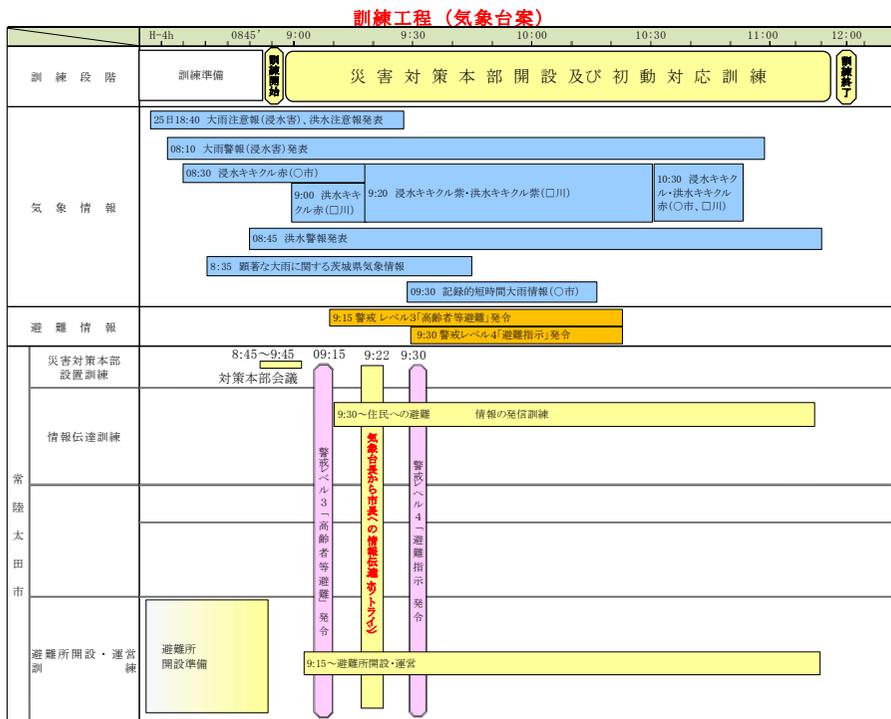
組織名：水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	タイムライン（ホットラインを含む）に基づく首長も参加した実践的な訓練

## 令和7年度の取組状況

自治体が実施した災害対策本部訓練等において、シナリオ作成等の準備段階から協力し、模擬ホットライン等の実施により、実際の訓練にも参加した。

- 5月10日 令和7年度茨城県・小美玉市避難力強化訓練
- 5月20日 茨城県風水害対応図上訓練
- 6月23日 桜川市災害対策本部運営訓練
- 6月28日 つくばみらい市防災訓練
- 7月26日 令和7年度洪水・土砂災害対応訓練（常陸太田市）



訓練工程（気象台案）



災害対策本部訓練 気象台長から市長への模擬ホットライン

組織名：水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	水防災に関する啓発・説明会（及び避難訓練）の実施

## 令和7年度の取組状況

住民等への情報発信を担う報道機関を含めた防災機関で構成する茨城防災気象連絡会において、防災気象情報に関する説明を行ったほか、協議会における講演、市町村が実施する避難訓練の中での講話やブース展示の機会をいただき、水防災に関する啓発を実施した。

- ・5月10日 令和7年度茨城県・小美玉市避難力強化訓練（講話）
- ・5月25日 令和7年度鉾田市総合防災訓練（ブース出展）
- ・6月13日 日立港安全対策協議会総会（講演）
- ・6月27日 茨城防災気象連絡会
- ・6月29日 令和7年度水害から命を守るための避難訓練（かすみがうら市）（講話）
- ・7月 3日 久慈川・那珂川洪水予報業務に関する説明会（常陸河川国道事務所との共催）
- ・7月 6日 令和7年度鹿嶋市総合防災訓練（講話・ブース出展）
- ・7月14日 大洗港入出港安全対策協議会総会（講演）
- ・7月17日 令和7年度自主防災組織リーダー研修会（坂東会場）（講演）
- ・7月24日 鹿島港災害対策協議会台風等対策専門部会（講演）
- ・7月26日 令和7年度取手市水害時避難想定訓練（講話）
- ・8月30日 つくば市地域防災リーダーミーティング（講話）
- ・8月30日 令和7年度ひたちなか市総合防災訓練（講話・ブース出展）
- ・11月30日 令和7年度結城市総合防災訓練（ブース出展）
- ・1月18日 令和7年度石岡市総合防災訓練「いしおか防災フェア」（ブース出展）
- ・3月14日 美浦村防災訓練（ブース出展）



茨城防災気象連絡会



かすみがうら市防災訓練での講話



結城市総合防災訓練でのブース出展

組織名：水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	小学生を対象とした防災教育の実施

### 令和7年度の取組状況

実験や疑似体験を通じて防災知識を学ぶお天気フェアを関係機関と共催し、小学生も含めた子供たちへの防災知識を普及に取り組んだ。  
また、水戸まちなかフェスティバルなど自治体等が主催するイベントにおいてブース出展を行い、子供に訴求する実験等から、関連した防災知識の学習へ導入するよう務めた。

- ・5月3日 水戸まちなかフェスティバル（ブース出展）
- ・6月8日 環境フェスティバル那珂2025（ブース出展）
- ・6月28日 エコフェスひたち（ブース出展）
- ・9月28日 常総水害から10年 防災イベント（ブース出展）
- ・10月4日 お天気フェア2025（共催：常陸河川国道事務所、下館河川事務所、一般社団法人 日本気象予報士会）  
（協力：茨城県（防災・危機管理課）、日立市天気相談所、一般財団法人 日本気象協会、地球ウォッチャーズ -気象友の会-）
- ・11月1日 地磁気観測所一般公開（ブース出展）
- ・11月8日、9日 防災ファミリーフェス2025（ブース出展）



水戸まちなかフェスティバル



お天気フェア2025

組織名：水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	出前講座等を活用した講習会の実施

## 令和7年度取組状況

出前講座を実施し、防災気象情報の普及啓発を行った。

- ・6月25日 水戸市新荘市民センター
- ・7月14日 龍ヶ崎市立城ノ内小学校
- ・7月23日 県立伊奈特別支援学校
- ・8月6日 放課後等デイサービス ころっぽごろっぽ
- ・8月20日 東電用地株式会社茨城支社
- ・8月30日 つくば市地域防災リーダー研修
- ・9月3日 筑西市総合福祉センター
- ・9月9日 行方市民生委員児童委員協議会
- ・10月17日 ひたちなか市防火安全協会
- ・11月26日、27日 常陸太田市役所
- ・11月28日 水戸市常磐市民センター
- ・12月8日 光輝学園防災マップ実行委員会
- ・12月18日 筑波メディカルセンター
- ・1月20日 鉾田市社会福祉協議会



水戸市新荘市民センターでの出前講座



県常陸太田市役所での出前講座

組織名：水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	防災士の育成への協力

## 令和7年度の取組状況

自治体が実施する防災士養成講座に講師として参加し、防災士の育成に協力した。

- ・7月12日、11月23日 いばらき防災大学
- ・7月27日 令和7年度中高生向け防災士養成研修
- ・8月30日 令和7年度日立市防災士養成講座



いばらき防災大学において防災気象情報や茨城県の気象特性に関する講座を担当（左：水戸会場、右：土浦会場）

自治体名：水戸市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	「令和7年度水戸市洪水ハザード避難訓練」における防災情報の発信及び避難訓練

## 令和7年度の実施状況

令和元年台風第19号の教訓を踏まえ、市災害対応力の強化を図るとともに、浸水想定区域内の全市民の皆様には防災意識を定着していただくため、洪水発生時を想定した情報伝達及び避難訓練を実施した。

実施日：令和7年6月29日（日）

### 【訓練概要】

・防災行政無線（避難指示サイレン吹鳴）、防災ラジオ、防災メール、SNS、消防団による広報等を用いた市の防災情報の発信。市民の皆様には、マイタイムラインを活用した避難やバス・自衛隊車両による避難者の搬送訓練を実施した。

### 【その他実施した訓練】

- 1 災害時避難行動要支援者に対する避難支援の要否の確認及び避難支援訓練
- 2 市職員、防災士及び避難者が連携した避難所の開設・運営訓練（受付・避難所レイアウト作成等）
- 3 双方向情報伝達システム・防災アプリを使用した受付（実証実験）

### 【自衛隊車両による搬送訓練】



### 【避難所開設訓練】



### 【避難所受付・実証実験】



自治体名：日立市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	総合防災情報システムの導入、防災WEBポータルサイトの運用開始

## 令和7年度の取組状況

## 総合防災情報システム

### 1 総合防災情報システムの導入

デジタル技術を活用し、被害情報等を迅速かつ効率的に収集・管理し、災害対応に利用するとともに、市民、市議会、地域コミュニティなどに、一斉に情報を発信できる総合防災情報システムを整備した。

#### 【特徴】

#### (1) 情報収集・集約の迅速化

- 各部署所に寄せられる被害情報等を随時集約し、情報の重複を選別しながら、一覧及び電子地図上に表示
- 災害危険箇所Webカメラにより、河川、道路等の状況をリアルタイム映像で把握

#### (2) 情報発信の迅速化

- 多様な主体へ情報を一斉送信
- 避難行動要支援者へ避難の呼びかけ等を送信
- 防災ポータルサイトへ情報を連携・発信

### 2 防災WEBポータルサイトの運用開始

市民がスマートフォンやパソコンなどから、各種情報を簡単・スピーディーに確認できる「日立市防災WEBポータル」を構築し、令和7年9月に運用を開始した。

#### 【主な活用方法】

- 災害時の情報収集
- 河川・道路などのリアルタイム映像の確認
- 公共交通機関・道路情報やライフライン情報の入手
- その他お役立ち情報の日常利用



## 防災WEBポータル



自治体名：古河市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	令和7年度 古河市水害対応総合訓練の実施

### 令和7年度の実施状況

・令和7年6月29日、水害を想定し、浸水想定区域内から区域外の避難先まで、訓練参加者自身の車で実際に避難をおこなう実働型の「古河市水害対応総合訓練」を実施し、訓練内ではさいごの逃げ込み施設（避難場所）へ避難してきた避難者・避難行動要支援者等を対象とするバスを用いた避難もおこなった。関係者を含め、約490人が訓練に参加した。

避難所運営訓練(避難行動要支援者の対応)



自家用車での避難の様子



防災スマホ講座



訓練会場内では市職員を対象とするシナリオ訓練に加え、避難者の受け入れ先自治組織との協働した避難所開設・運営訓練や、ボランティア主体の防災装備品体験ブースの運営、発災時のスマートフォン活用方法についての講座等を実施した。

自治体名：石岡市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	住民が参加する避難訓練

## 令和7年度の取組状況

- ① 目的 近年、台風や集中豪雨、竜巻が発生しやすいほか、記録的短時間に降る大雨等により、全国各地で甚大な水害が発生している。「この辺りは浸水したことがないから大丈夫」等と過信せず、水害被害に関する情報、そして水害に備える情報・行動を学び、災害はいつか起こるかもしれないと思うものではなく、起きるものだとして認識していただくことを目的に実施する。
- ② 日時 石岡小学校区地域防災訓練 令和7年6月29日(日) 9:00～11:30
- ③ 会場 石岡小学校体育館
- ④ 想定 大型で猛烈な台風の影響により、降雨量の急激な増加から、石岡小学校区一帯の浸水想定区域の市民に対し、当日午前9時に防災行政無線にて避難情報(レベル4、避難指示)を発令
- ⑤ 内容 (1) 水害から命を守避難訓練 (2) 避難所開設・運営訓練 (3) 水害等に対する防災講話 (4) 劇場型訓練～誰もができる水害救護活動 (5) 体験型訓練～誰もができる水害救護活動編 (6) その他緊急自動車等展示、避難者生活模擬体験等



自治体名：結城市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	住民（自治会未加入世帯、高齢者、外国人等）への確実な情報伝達方法の確立

## 令和7年度の取組状況

### ・目的

災害発生時や緊急事態発生時に、市民の方へ避難情報や防災情報などを迅速に伝達を図る。

### ・説明

災害発生時や緊急事態発生時に、いつでもどこでも正確な情報を得ることができるようスマートフォンアプリ「全国避難所ガイド」を導入

アプリの機能として、防災情報の通知、防災行政無線の内容の確認、避難所検索、開設避難所・混雑状況の確認、安否登録・確認が可能。

無料で使える防災アプリ  
App Store からダウンロード  
Google Play でインストール

# 防災情報 全国避難所ガイド

## 全国の避難所検索

外出先でも現在の防災情報をプッシュ通知でお知らせします。

**無料アプリ**

避難コンパス

現在のリスク情報を表示！

- 全国の避難所・避難場所を自動検索**  
アプリ起動と同時に、現在地から近い避難所・避難場所を自動検索します。検索した避難所や地図は、オフライン時でも表示されます。
- 現在のリスク情報を表示**  
現在のハザードマップ内外判定と、判定レベルを表示します。避難情報の発令や、気象警報・土砂災害・洪水情報を表示します。
- 開設避難所・混雑状況を表示**  
現在地周辺の開設避難所や、混雑状況を表示します。
- 防災情報をプッシュ通知**  
現在の避難情報や気象庁防災情報、国民保護情報などをプッシュ通知します。
- 避難コンパス・ARカメラ**  
避難所までの距離と矢印を表示して、避難行動を支援します。
- ハザードマップ表示・防災行政無線受信**

1st ファーストメディア

自治体名：龍ヶ崎市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	水害への災害対応力を強化する「龍ヶ崎市総合防災訓練2025 IN 駒柴地区」

## 令和7年度の取組状況

- 目的
- 特徴

過去に経験した小貝川の決壊や牛久沼の越水などの水害への対応力強化や市民の防災意識の向上

水害時に大部分が浸水することが想定されている、駒柴地区の地区防災計画に基づいた訓練です。駒柴地区の住民が、隣接する地区の台地（高台）にある松葉小学校に避難する「住民避難訓練」を行った後、避難先となる松葉小学校では、松葉小学校区協議会、松葉・長山地区の防災士が受け入れ側となり、駒柴地区の避難者に避難所生活を体験してもらう「避難所生活体験訓練」を展開しました。会場では、降雨体験車による降雨体験・土のう作成体験など、来場者に向けた多様な訓練・体験コーナーを展開しました。



- 1 日時 令和7年11月1日（土） 午後1時から午後4時30分まで
- 2 会場 龍ヶ崎市役所附属棟1階会議室、小貝川堤防、龍ヶ崎市立松葉小学校

- 3 訓練内容
  - ①住民避難訓練（各自宅～松葉小学校）
  - ②災害対策本部設置訓練・情報伝達訓練（会場：市役所附属棟1階会議室）
  - ③現地災害対応訓練（会場：小貝川堤防・松葉小学校校庭）
  - ④避難所生活体験訓練（会場：松葉小学校体育館）
  - ⑤災害ボランティア受付訓練（会場：松葉小学校）
  - ⑥各種防災資機材・水防資機材展開訓練（会場：松葉小学校校庭）
  - ⑦消防署高度救助隊による救助訓練（会場：松葉小学校校庭）

令和6年度に導入した止水板の展示



避難所生活体験（資機材展開）訓練



広報用ポスター 龍ヶ崎市

# 総合防災訓練

## 2025 IN 駒柴地区

11月1日（土） 13:15～16:30

会場/松葉小学校（指定避難所）  
龍ヶ崎市北第2-9

水害時の避難行動を体験しよう！

避難訓練を見学される方は  
11/1@13:15に防災行政無線にて  
避難訓練「龍ヶ崎市4地区同時」が実施されます。  
お申し込みの避難訓練参加希望者は必ずお申し込み  
済みの会場で「松葉小学校」へ避難してください。

400名限定  
訓練に参加された方に  
防災対策  
ボトル  
プレゼント  
（お申し込み必須）

見学！体験！いろいろ

- 降雨体験車による降雨体験（予約制）
- 土のう作成体験
- 給水体験
- 水消火器体験
- 煙体験
- トイレトラック、水循環型シャワーの見学
- 水害で使用する資機材（水のうや止水板）の見学
- ペットの避難、防災啓発コーナー、  
陸上自衛隊救助資機材展示コーナー等の見学
- 龍ヶ崎消防署高度救助隊による救助訓練の見学

避難所生活体験

- 避難スペースの割当て
- 避難所物資の受け取り
- パーテーションや段ボールベッドの受け取り・展開
- 非常食の受給・実食
- 就寝体験
- 災害ボランティアセンター受付訓練

お問い合わせ 龍ヶ崎市役所 防災安全課 TEL: 0297-64-1111 (内線350・352)  
mail: bousai@city.ryugasaki.lg.jp

自治体名：常総市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	住民参加型広域避難訓練

## 令和7年度の取組状況

○ 台風による洪水を対象とし、避難指示等発令に着目した常総市からつくば市への広域避難訓練を実施した。また、同地区在住の避難行動要支援者の方にも訓練に参加していただき、個別避難計画の実効性の確認及び計画の更新を実施した。

【開催日】 令和7年10月11日（日）9時30分～11時30分

【訓練対象地区】 常総市三妻地区

【訓練会場】 豊里柔剣道場：つくば市今鹿島4262

### 【訓練内容】

9時30分 避難指示発令（常総市三妻地区）防災行政無線  
広域避難開始：対象地区（常総市三妻地区約60名参加）  
\* 車移動

9時30分～避難所受け入れ開始

避難所到着後・・・順次、避難所に避難し、受付及び避難所設営を実施

- 受付は、実災害時担当部署が対応
- 受付後に、避難者が協力し間仕切りテント及びエアースタックの設営を行う（設営補助は、職員及び防災士が担当）
- 避難行動要支援者へのヒアリング（避難経路の確認や計画更新について）

11時15分～避難所設営終了

警察挨拶及び講評



自治体名：常総市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	市内小学生を対象とした防災スポーツ

## 令和7年度の取組状況

○ 近年、台風や線状降水帯による大雨による水害を始めとする大規模な自然災害が全国各地で頻発、激甚化しており、地域が一丸となった災害対策が求められている。そうした中、災害初動期の公助による応急対策の限界により、自助・共助の役割の重要性が改めて注目されている。こうした地域住民による顔の見える関係性・コミュニティによる防災力の向上及び楽しみながら防災についての知識を習得し、防災意識の高揚につなげてもらうことを目的に本事業を開催した。今年度は水害をメインのテーマとして本事業を実施した。

【実施期間】 令和7年10月～12月

【実施場所】 常総市内小学校6校

【主 体】 常総市、株式会社シンク

【実施内容】

- ・レスキュータイムアタック（共助）
- ・キャットサイクルレース（復旧）
- ・ウォーターレスキュー（水害発生時における共助）
- ・防災知識トレーニング（知識取得・啓発）



自治体名：常陸太田市

取組項目	(3) 氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組
事項	① 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等
実施内容	国土交通省の実証実験に参加し、ワンコイン浸水センサを河川等に設置

### 令和7年度の取組状況

○令和7年2月に国土交通省からのリースによりワンコイン浸水センサを設置

○夜間や暴風雨時においても、24時間リアルタイムに浸水状況を把握するとともに、排水ポンプ車の活用と合わせた浸水被害の発生防止につなげる。

#### 設置箇所

No.	設置場所	設置箇所数	設置基数
1	久慈川	5カ所	10基
2	里川	4カ所	8基
3	山田川	4カ所	8基
4	源氏川	7カ所	14基
5	鏡川	5カ所	5基
6	中江川	9カ所	9基
7	亀作川	6カ所	8基
8	稲木町(山吹公園南側)	4カ所	6基
合計		44カ所	68基

次のURL又はQRコードにアクセスすることで、どなたでも閲覧可能。  
国土交通省 ワンコイン浸水センサ表示システム（実証実験中）

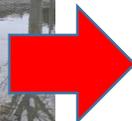
«URL»

[https://r3sbc.ibsc.ibaraki.jp/app/remote/#/client/AGMAZGVmYXVsdA==?Google%20Chrome\\_1](https://r3sbc.ibsc.ibaraki.jp/app/remote/#/client/AGMAZGVmYXVsdA==?Google%20Chrome_1)

«QRコード»



#### 山吹運動公園南側（稲木町地内）



自治体名：高萩市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項
実施内容	ワンコイン浸水センサーの設置

### 令和7年度取組状況

- 近年、災害の激甚化・頻発化に伴い、ワンコイン浸水センサ実証実験に参加することにより冠水注意箇所等にワンコイン浸水センサーを設置した。これにより、危険エリアの特定や避難情報の発信など、本部長の状況判断の手助けとなる。
- 防災アプリと連携することにより、市民が災害情報を入手する手段としている。



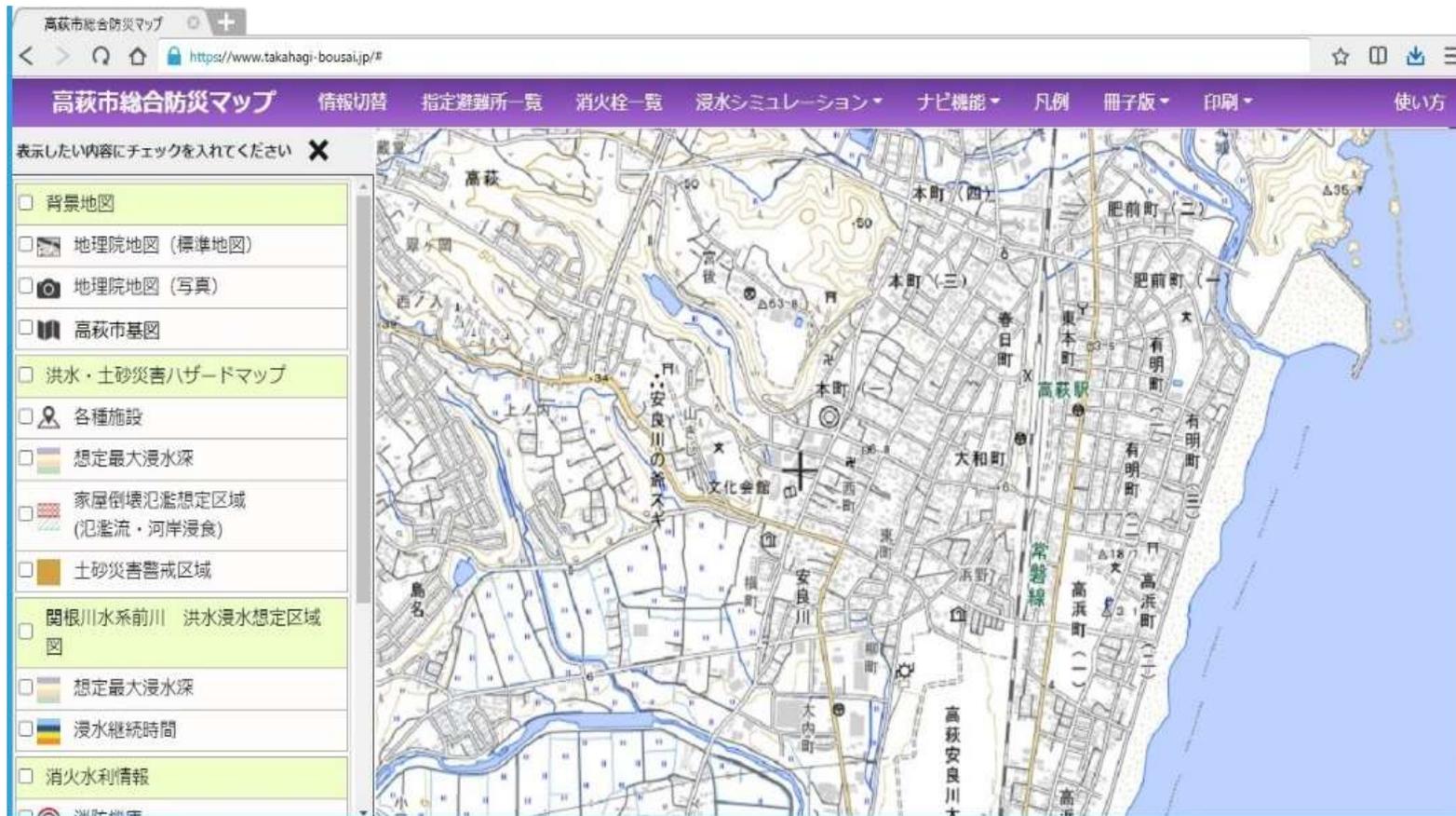
自治体名：高萩市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項
実施内容	高萩市総合防災マップ (Web版) の作成

## 令和7年度の取組状況

- 高萩市Web防災マップを作成することにより、最新の防災情報を住民へ発信することが可能となる。  
洪水・津波・土砂災害等による危険度の地域的傾向を把握してもらい、災害による被害の軽減につなげる。  
特に、過去に災害が発生した地区において防災意識の向上と自主的な被害軽減行動の促進につなげる。

※作成中のため、イメージ図



取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認（水害対応タイムライン）

### 令和7年度の取組状況

市域への大雨警報（土砂災害）の発表に伴う「高齢者等避難」等の発令下における洪水及び大津波警報の発表に伴うハザードマップ想定区域内に居住する市民の避難行動訓練を実施。

#### 【訓練内容】

- ・災害対策本部設置
- ・防災行政無線等による防災情報の発令
- ・避難所の開設、受入れ
- ・避難行動要支援者に対する避難支援の要否確認及び搬送

- ・簡易トイレの設置訓練 等

#### 【参加者】

- ・市民679人
- ・消防団140人
- ・社会福祉協議会5人
- ・災害時応援協定事業者10人
- ・市議会議員5人
- ・市職員341人



簡易トイレ設置訓練



避難所開設訓練



津波避難タワーへ避難の様子



トイレ兼備蓄倉庫の説明

自治体名：笠間市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成と周知

## 令和7年度の取組状況

想定最大規模降雨による浸水想定区域図，家屋倒壊危険区域の公表  
防災のしおり（ハザードマップ）の全戸配布と、笠間市公式ホームページでの公表

笠間市公式HP内

### ハザードマップ（防災のしおり）を作成しました！

市内中小河川が浸水想定区域に追加指定されたことに伴い、笠間市ハザードマップ（防災のしおり）を改訂しました。ハザードマップを見て、自宅や関係先（学校や職場）の危険度を確認するとともに、学習画を参考にしながら、今できる備えをしておきましょう。



#### 笠間市ハザードマップデータ（PDF）

- ハザードマップ地図データ [PDF形式/3.73MB]

- ※ハザードマップ（防災のしおり）の修正点
- 洪水浸水想定区域、家屋倒壊危険区域の所在地図：大原町 正：橋田
- 関係機関などの連絡・情報入手先：モリタケイ 東京電機株式会社電話番号  
 課：0120-999-332 課：0120-999-001
- 浸水想定区域（都市下流部）  
 区：010~050m未満の区域 正：0.20~0.50m未満の区域

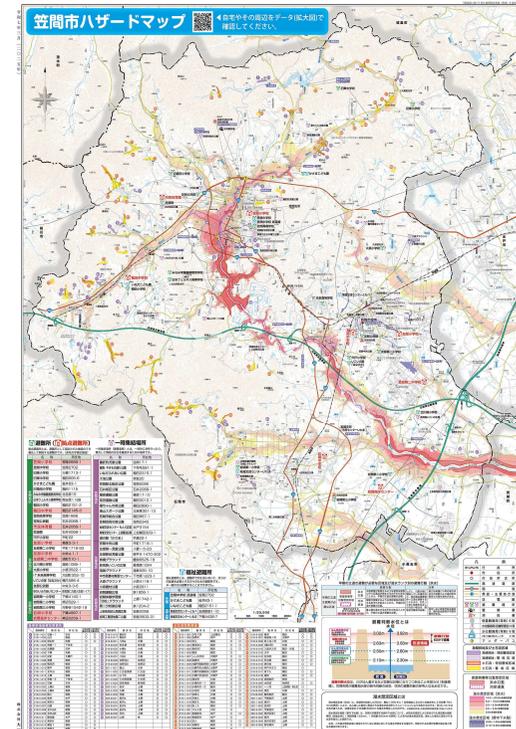
#### ハザードマップ情報学習画データ

- 情報学習画データ一式 [PDF形式/5.68MB]
- 1. 表紙 [PDF形式/1.2MB]
- 2. 地区への伝え [PDF形式/1.26MB]
- 3. 水害への伝え [PDF形式/2.05MB]
- 4. 浸水への伝え [PDF形式/2.62MB]
- 5. 公共機関などの連絡・情報入手先 [PDF形式/1.29MB]

● ハザードマップに掲載されているQRコードや関連サイトなどのリンク先です。QRコードの読み取りに不具合がある方や、読み取りエラーなどでリンク先にアクセスできない方は、こちらの「リンク先一覧」から直接アクセスしてください。

#### 重ねるハザードマップ

「重ねるハザードマップ」は、国土交通省が公開している、洪水（浸水想定区域）や土砂災害（特別警戒区域・警



自治体名：取手市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	小学生を対象とした防災教育の実施

## 令和7年度の取組状況

○市内小学校で毎年実施し、災害時の避難行動について理解を深めるため  
マイタイムライン作成講座を実施した。(令和2年度より継続実施)

### 【目的】

- ・地域と継続的な地域連携の防災訓練を実施することで地域と学校の繋がりを強化する。
- ・防災に関する体験活動を通じ、児童の危機管理能力を高める。

### 【参加者】

小学校児童、学校職員、取手市役所

### 【内容】

- ・マイ・タイムライン作成講座



自治体名：常陸大宮市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	タイムライン（ホットラインを含む）に基づく首長も参加した実践的な訓練

## 令和7年度の取組状況

### ○常陸大宮市避難力強化訓練の実施

【開催日時】 令和7年6月22日

【訓練対象地域】 常陸大宮市内全域

【訓練想定】 大型で猛烈な台風による大雨の影響により、久慈川・那珂川・中小河川の氾濫及び山間部における土砂災害の恐れがあるため、市内全域に対し避難情報を発令。住民はマイ・タイムライン及び市から伝達される避難情報に基づき避難する。

- 【内容】
- ①災害対策本部訓練
  - ②避難情報伝達訓練
  - ③避難所開設・運営訓練
  - ④物資等調達訓練
  - ⑤マイ・タイムラインに基づく市民の避難訓練
  - ⑥市、自主防災組織、消防団、福祉施設等による避難支援訓練
  - ⑦茨城県防災航空隊による救出訓練
  - ⑧陸上自衛隊等による資機材展示



自治体名：那珂市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	小学生を対象とした防災教育の実施、住民が参加する避難訓練

## 令和7年度の取組状況

### ○小学生を対象とした防災講座の実施

【開催日時】 令和7年9月12日（金）

【場所】 青遙学園那珂市立額田小学校

【参加者】 小学4年生 生徒14名

【目的】 防災講座を開催し、災害に対する知識を深めると共に、避難タイミングの確認や避難力の強化を図る。また、避難所で使用する段ボールベッド等の防災資機材設営体験を行いました。



### ○那珂市防災訓練の実施

【開催日時】 令和7年5月22日（木）

【訓練対象地域】 市内全域（市内の浸水想定区域（久慈川・那珂川・大井川・早戸川沿い）及び土砂災害警戒区域を含む）

【訓練想定】 太平洋上で発生した大型で猛烈な台風第X号が、5月22日(木)には勢力を維持したまま関東南部に上陸する見込みで、既に記録的な大雨や暴風となっている地域もある。この台風の影響により、本市の避難情報発令の目安となる久慈川の富岡観測所及び、那珂川の野口観測所で、水位の上昇が見込まれることから、浸水想定区域において氾濫の危険性が高まっている。

#### 【内容】

- ① 住民避難訓練
- ② 災害対策本部開設・運営訓練
- ③ 避難所開設・運営訓練
- ④ 情報発信訓練
- ⑤ 避難行動要支援者避難支援の確認・搬送訓練



※写真の取り扱いについては厳重注意  
全員から本人からの了承を得ているわけではないので内部資料としてください。

自治体名：筑西市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	住民参加型の避難訓練及び防災に関する啓発の実施

## 令和7年度の実施状況

- ① 目的 水害時の逃げ遅れ被害をゼロとするため、住民に対する迅速・的確な避難行動の普及啓発や、防災意識の向上を図ることを目的に実施。
- ② 日時 令和7年6月28日（土） 午前9時00分～午前11時00分
- ③ 会場 協和コミュニティセンター
- ④ 想定 台風に伴う大雨により河川が増水。水害の危険性が高まっている状況を想定。  
6月28日午前9時00分に「高齢者等避難」、午前9時15分に「避難指示」を発令。
- ⑤ 内容
  - 災害情報伝達訓練
  - 避難所までの住民避難訓練
  - 避難所開設訓練・運営訓練（テントやエアヘッド）等の設営
  - 避難行動要支援者への避難支援訓練及び搬送訓練
  - 体験・展示ブース
    - 水消火器体験、降雨体験、自然災害体験、VR体験、消防・警察車両等の展示
  - 女性等への配慮
    - 女性専用の更衣室や母子用のスペースを設け、保健師を配置、防犯ブザーの設置
  - 防災講習会
    - NHK水戸放送局のキャスターによる防災講習会



自治体名：坂東市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	マイ・タイムライン作成

## 令和7年度の取組状況

市民の皆さんと行政が力をあわせ、「坂東市まちづくり出前講座」を実施しています。

市の職員が講師となり、スライドやビデオを使用し、自治会や企業への学習会、学校の授業等を対象に市の防災体制や防災に関する基礎知識・対応方法を気軽に学べる講座を実施しています。



マイ・タイムライン作成講座  
坂東市立東中学校  
【令和7年7月4日】



マイ・タイムライン作成講座  
坂東市立七郷小学校  
【令和7年9月10日】



マイ・タイムライン作成講座  
坂東市立中川小学校  
【令和7年9月12日】

自治体名：稲敷市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	防災力向上を目的とした防災訓練の実施

## 令和7年度の取組状況

### ●実施目的

大雨による河川等の氾濫を想定し、「稲敷市地域防災計画」「職員初動マニュアル」に基づいて防災訓練を実施することにより、住民に対する迅速かつ的確な避難行動の普及啓発や市職員の防災力向上を目的とし実施。

### ●訓練内容

- ・ 災害対策本部設置訓練
- ・ 職員情報伝達訓練
- ・ 避難所開設訓練
- ・ 要配慮者の避難支援有無確認  
及び避難所搬送支援訓練
- ・ 市議会情報伝達訓練
- ・ 住民避難訓練
- ・ 河川警戒、巡視訓練
- ・ 区長会、民児協、消防団  
合同ワークショップ
- ・ 防災講座



自治体名：つくばみらい市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	つくばみらい市防災訓練を実施

## 令和7年度の実施状況

### ○つくばみらい市防災訓練を実施

令和7年6月28日、大雨を想定し、鬼怒川、小貝川の氾濫警戒情報及び大雨警報で、高齢者等避難（警戒レベル3）を発令し、その後、氾濫危険情報に基づき、避難指示（警戒レベル4）を発令した。

市は災害警戒本部を設置し、仮想の被害情報を付与することによる図上訓練を実施した。

また、全市民に防災行政無線及び防災アプリ等にて周知を行い、避難行動の確認、さらに一部市民は避難所へ避難する訓練を行った。

#### 【訓練内容】

- ・災害警戒本部設置運営訓練
- ・情報共有室設置運営訓練
- ・水戸地方気象台、下館河川事務所とのホットライン訓練
- ・防災行政無線・市防災アプリ・SNS等による避難行動の呼びかけ（全市民）
- ・キッチンカー手配訓練及び物資調達システムの活用訓練
- ・避難行動要支援者に対する安否確認・搬送支援訓練
- ・女性に配慮した避難所運営訓練
- ・避難所（富士見ヶ丘小学校）での防災士による防災クイズ及び防災グッズ作り
- 下館河川事務所提供「水防災に関するパネル」展示
- ・常総警察署警備課長による防災講話 等



情報共有室の様子



避難所での防災クイズの様子

自治体名：小美玉市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	風水害を想定した避難力強化訓練の実施

### 令和7年度の取組状況

令和7年5月10日（土）に大雨による浸水被害を想定した訓練を茨城県と合同で小川文化センターアピオスと玉里保健福祉センターで実施しました。

訓練には自衛隊や水戸地方气象台、石岡警察署のほか、県や市と災害協定を結んでいる企業の協力がああり、約200名の市民が参加し、災害発生を想定した実践的な訓練を行いました。



自治体名：茨城町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	水防災に関する啓発・説明会（及び避難訓練）の実施

## 令和7年度の取組状況

町民が台風や豪雨による洪水などの自然災害への認識を深めるとともに、家庭や地区での備えを強化することで被害の軽減や災害を未然に防止する行動を取るなど、防災意識を高めるため、令和7年6月22日に風水害を想定した避難力強化訓練を実施した。訓練内容は①町民避難訓練、②避難所の開設・運営訓練、③災害情報伝達訓練、④物資等要請訓練、⑤避難行動要支援者避難訓練とし、災害に備えた実践的な訓練を行った。また、⑥防災学習・相談コーナーの設置や⑦防災備蓄品の展示を実施し、浸水想定区域・土砂災害警戒区域の周知や防災に関する町民からの相談対応等、町民の防災意識高揚に努めた。



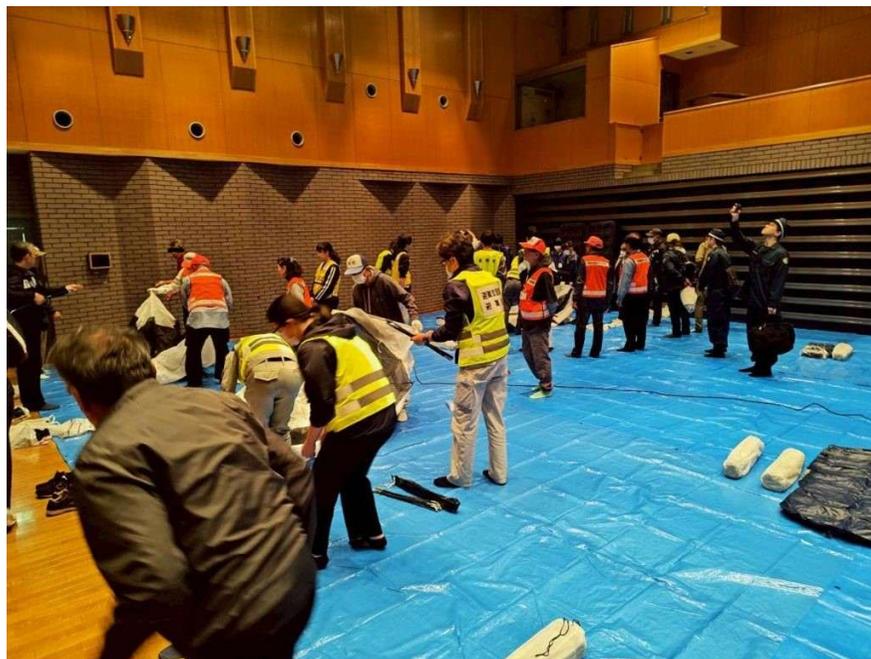
自治体名：阿見町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	洪水浸水想定区域を対象とした住民避難訓練

## 令和7年度の取組状況

令和7年5月31日、洪水浸水想定区域の住民を対象に、町から避難指示が発令されたことを想定した避難訓練を実施しました。町登録制メールや区長への電話を合図に最寄りの避難所に避難してもらい、受付要領確認やエアベッド等の資機材組み立て体験を行いました。今年は町の避難所担当職員や地区住民、防災士の資格を持つ方で有志により組織される防災アドバイザーに加え、当町唯一の高等学校である霞ヶ浦高校のボランティア生徒が参加し、避難所の開設・運営の協力をしてくださりました。

訓練は午前午後で二つの施設で行い、対象地区の6地区から約60名、防災アドバイザーは9名、高校生は12名、避難所担当職員は20名、そのほか関係者数名の約100名が訓練に参加しました。



全員で避難テント、エアベッドを組立てる様子



マイタイムライン作成講座

自治体名：河内町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	河内町洪水広域避難訓練

## 令和7年度の実施状況

### 広域避難を想定した訓練を実施

6月22日（日）、町内の浸水想定区域内に居住する住民に対し、災害時の避難情報に基づいて迅速に避難できるように、避難・自助力向上を目的とした町民参加による避難訓練を行いました。この訓練は、中央公民館を広域避難所に想定し、職員による物資搬送訓練や自主防災組織の避難所設営訓練に加え、防災士連絡会はハザードマップの説明、マイタイムラインの作成指導、女性消防団は防災備品の啓発活動を行いました。



自治体名：八千代町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	マイ・タイムラインを中心とした防災講座の実施

### 令和7年度の取組状況

団体(対象)	日時	場所	参加者数	協力
消費友の会	10月22日(水) 10:30~11:30	改善センター	21名	八千代町防災士会
中結城小学校 (5年生)	10月29日(水) 10:20~11:05	中結城小校	60名	八千代町防災士会
川西地区コミュニティ推進 協議会(一般住民)	11月8日(土) 10:00~12:00	川西小学校 (PC室)	50名	八千代町防災士会
西豊田小学校 (5年生及び保護者)	11月11日(火) 13:20~14:05	西豊田小学校 (生活科室)	70名	八千代町防災士会
川西小学校 (5年生及び保護者)	12月12日(金) 13:30~14:15	川西小学校 (ミーティング室)	42名	八千代町防災士会
東中学校 (1年生)	12月19日(金) 11:30~12:20	東中学校 (教室)	34名	八千代町防災士会
仁江戸行政区 すみれ会	2月15日(日) 10:00~12:00	仁江戸会館	25名	八千代町防災士会

○令和7年度 開催実績(見込み含む) 合計7回参加者合計約302名

○今後の課題

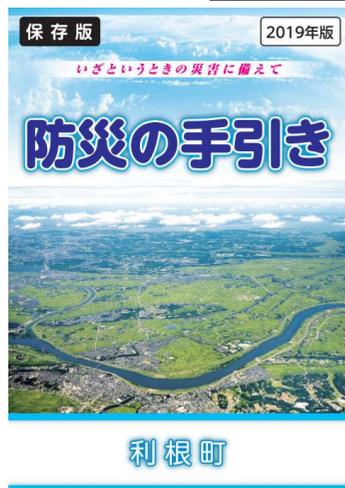
- ・マイ・タイムラインを活用した避難訓練や危険箇所の共有
- ・内容の充実(DIG、HUG、備蓄など単発ではなく数回を組合わせた複合的な講座としてパッケージ化して展開したい)

自治体名：利根町

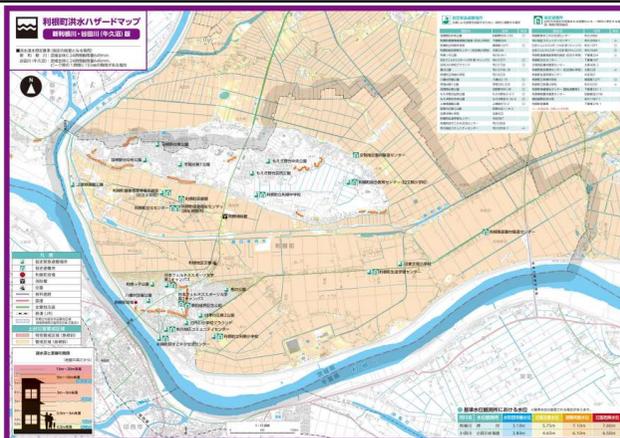
取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	洪水ハザードマップの更新・周知

## 令和7年度の取組状況

防災ガイドブックの作成



追加したハザードマップ新利根川・谷田川(牛久沼)版



## 実施内容

令和7年3月に「利根町防災ガイドブック」を更新し、町内の全戸へ配布しました。ガイドブックには、水害への備えや土砂災害の情報、指定避難所等の見直し、5段階の警戒レベルの掲載、災害時の情報取得手段など、多岐にわたる情報を掲載し、災害時の有効な情報を、町民の皆さまに幅広く活用していただけることを目的として作成しました。

また付属のハザードマップを新しく追加し、新利根川・谷田川(牛久沼)版の想定浸水深を詳しく見ることができるようになりました。

自治体名：利根町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	洪水ハザードマップの更新・周知

## 令和7年度の取組状況

出前講座の様子



## 実施内容

町内の自治会への出前講座を実施しました。

講座内容としましては、マイタイムラインの作成方法や、ハザードマップの見かたなどを行うとともに、自宅から避難所までの避難ルートも確認していただきました。

また、追加された新利根川・谷田川(牛久沼)版のハザードマップを使用し、各ハザードマップを見比べることで、被害の状況を詳しく理解していただき、水害から身を守る意識の向上を図りました。